

## 涅槃会

涅槃とは、元々は一切の煩悩や執着を断ち切って悟りに到り、迷いが無くなり、輪廻から解放された境地を刺す言葉でしたが、涅槃会（ねはんえ）と言った場合は、お釈迦様の亡くなられた日を指します。

お釈迦様は、クシナガラまで来られた時に力尽き、枕を北にして横たわり、集まった人々に智慧の光によって無明の闇を除くべきであると、最後の説法をされます。

そうして静かに息を引き取られました。